

<同志社人が誇りに思える情報>

同志社ファン・レポート

Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report

発信：同志社ファンを増やす会

第308号・2021年6月1日発信

『同志社の自由主義』(5)「自由は誰にも見えないけれど」

野本真也先生

(学校法人同志社元理事長、日本キリスト教団賀茂教会牧師)

■はじめに (編集人より)

4月1日で同志社ファンを増やす会は8回目の新年度を迎え、原点を見直そうと野本真也先生に<同志社人が誇りにすべきこと>をお伺いしますと「それは同志社の自由教育でしょう」と「奨励・同志社の自由主義」のご提供と利用の承諾をいただきました。

内容は聖書やキリスト教のことが出てきますが、これを避けていたのでは、いつまでも同志社や新島襄の核心に迫れない、と考えました。

そこで全文を5回に分け、聖句やキリスト教は、牧師の有賀誠一先生(同志社大学卒、理学博士)に解説を「同志社ファン ZOOM 講座」でお願いしております。また、用語については、文末に参考情報を添えました。このようにレポートは講座とセットになっています。

* * *

⑤. 自由は誰にも見えないけれど

今、ACジャパン(旧公共広告機構)の commercials で、『『こころ』はだれにも見えないけれど 『こころづかい』は見える』という言葉と映像が流されています。これは、埼玉の「風と光の詩人」と言われていた宮澤章二の「行為の意味」という詩から採られたものです。その一部をご紹介しますと、こう書かれています。

—あなたの〈こころ〉はどんな形ですか
と ひとに聞かれても答えようがない

自分にも他人にも〈こころ〉は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈こころ〉はだれにも見えない
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

(『行為の意味 青春前期のきみたちに』2010年 ごま書房新社)

この詩にちなんで言えば、自由はだれにも見えない けれど自由は愛として使えば見えるのです。

「あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい」。このパウロのメッセージが、私たち個人の間はもちろんのこと、さらに集団や国家のレベルでも、現実としていくことができれば、現在のように大災害による苦難や不安や恐怖のうずまく状況にあっても、希望を見いだしていくことができるのではないのでしょうか。

すでに大災害のただなかで、助け合っておられる方々、原発事故の処理のために危険を顧みずに働いておられる方々、ボランティア活動をしている方々、それらを支えている方々など、そこでは、不安や死の恐怖などから自由になり、その自由を愛のエネルギーに代えて大切な働きをしておられる方々の姿を、私たちは感動をもって確認することができます。これは、パウロのメッセージが、単に彼の時代とか、キリスト教世界のなかだけで通じるのではなく、時代を超え、地域を超える普遍的なメッセージであり、真理なのだということを指し示している貴重なしるしだと思うのです。

どうか、学生の皆さん、教職員の方々、私たちに与えられている学問の自由をはじめ、さまざまな自由を愛のエネルギーに代え、この時代の難局を乗り切っていくために、各自が創意工夫しながら使うことで、新島襄の自由教育を実践し、同志社の自由主義の精神を発揮していこうではありませんか。

補足情報

担当：多田直彦（文責）

・公益社団法人 AC ジャパンは、公共広告によって、国民の公共意識を高めることを目的に活動している民間の団体である。団体のスローガンには、「人と人とを結ぶ、思いやり」と「明日のために、いま始めよう。」がある。2020年の支援団体は、日本盲導犬協会、日本動物愛護協会、日本骨髄バンク、日本腎臓財団など。 出典：ウィキペディア

・宮澤 章二（みやざわ しょうじ、1919年6月11日 - 2005年3月11日）
埼玉県羽生市出身の詩人・作詞家。東京大学文学部卒業。埼玉県立不動岡高等学校の教諭に。その時代に作曲家の下総皖一と出会ったことから、詩人・作詞家として活動を開始。

校歌や童謡などの作詞を多数手がけ、特に校歌は埼玉県内を中心に 300 校以上にのぼる。
日本童謡賞、赤い鳥文学賞特別賞などを受賞。 出典：ウイキペディア

・『私たちの道徳』 小学校 5・6 年の教科書には、4 行が付け加えられている。

—あなたの〈こころ〉はどんな形ですか
と ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈こころ〉はだれにも見えない
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為となるとき
〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる
—それは人が人として生きることだ

ある学校の道徳学習指導案から

<その 1>

宮澤章二の詩「行為の意味」は思いやりの心をテーマに書かれている。自分の心の中で思っていることを、思いやりのある行動に変えるためには何が必要かを、問いと答えを繰り返しながら、読者に考えさせる文となっている。また、学習の手引きには車椅子の人が段差に困っているときの写真があり、動作化を促している。児童が頭ではよいこととわかっているが実際に演じてみると、なかなかうまくいかないことについて、どうすればよりよい思いやりの行動がとれるのか考えさせることができる資料である。

<その 2>

人が人を思いやるということは、相手の立場になって物事を考えるということである。思いやりは自身の生活において日々もつべき心であり、かつ、なすべき行為である。しかもそれは、よく知っている特定の人だけでなく、折に触れて接するさまざまな人に対しても、はたらく心である。そして、思いやりは元来、結果の損得を期待しない無私無償の愛であり、また、それが社会生活を営む人間にとって規則や契約を超越したところに存在することに価値がある。そして、思いやりは勇気のある行為と言える。それが実践されるには、自分が相手の立場になったとき、自分だったらどうなるかを相手に合わせて常に考える姿勢が大切であり、そこから次第に実践意欲が培われていくものである。